生産性向上支援訓練オープンコースのご案内

（コース番号:23-16-12-061-021）

職場の生産性を向上するために必要となる、
組織を統率するための能力を理解し、職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。

職場のリーダーに求められる統率力の向上

開講日／令和５年 10 月 5 日(木)

時間／9:30～16:30
（昼食休憩1時間程度を含む）

会場／ポリテクセンター富山
（富山県高岡市八ヶ 55） ※無料駐車場あり

定員／15 名(最少催行人数6名)
※先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込締切日／9 月 21 日(木)
※申込締切日を過ぎての受講希望についてはご相談ください。

受講料
3,300 円
（税込）

課題・目標

・「リーダーの能力」がどういうものかよく分からない
・何を管理したら、組織は強くなるのだろうか
・部下の強みをもっと引き出したい
・管理者としての役割を正しく理解したい
・強い組織の特徴は何か

課題解決・目標達成

・統率力を構成する要因を理解する
・統率力を向上するための要因を理解する
・管理者の役割と果たすべき責任を明確化する
・リーダーシップとフォロワーシップの違いを理解する
・的確な情報伝達の重要性を理解する

コース概要

【推奨対象者】 ☆ 管理者層
【 受講内容 】 ① 組織の管理
② 職場の生産性と統率力
③ 職場の情報伝達
◆その他演習◆

生産性センターHP

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　富山支部
ポリテクセンター富山　生産性向上人材育成支援センター
☎:0766-28-6903　✉:toyama-seisan@jeed.go.jp

コース名	職場のリーダーに求められる統率力の向上		
コース番号	23－16－12－061－021	受講料	3，300円（税込）
日　程	令和5年10月5日（木）	時　間	9:30～16:30
概　要	職場の生産性を向上するために必要となる各種経営組織や形態に対応できる管理機能や職位に応じた組織を統率するための能力を理解し、職場のチームワークを牽引できる能力を習得する。		
推奨対象者	管理者層		
実施機関	株式会社 おがわコーポレーション		
開催場所	ポリテクセンター富山 〒933-0982　高岡市八ヶ55　　TEL　0766-28-6903		

カリキュラム内容		時間
■組織の管理	（1）組織の管理機能（演習あり） ・組織とは何かを考え、組織としての3要素（共通目的、貢献意欲、意思疎通）の重要性を再認識し、職場のリーダーのとるべき行動を明確にする。 ・職場のリーダーの成長が止まるとチーム・メンバーの成長も止まることを理解し、メンバーと共に悩み向上する協力関係を築く。 （2）管理原則(演習あり) ・職場のリーダーに必要な5つの組織管理原則（専門化、権限責任一致、統制範囲、命令統一性、権限移譲)を理解する。 ・組織の方針や目標が個人の目標設定に活かされているかをSMATの法則（具体的か、進捗がわかるか、同意しているか、関連は何か、期限はいつか）でチェックし、メンバーの成長に役立てる。 （3）様々な経営組織 ・経営組織として、ライン組織、ライン＆スタッフ組織、事業部制組織、カンパニー制組織、マトリックス組織というよく耳にする経営組織の内容とメリットとデメリットを習得する。 ・職場リーダー位置づけを4分類（職場リーダーの仕事、職場リーダーの任務、職場リーダーの役割、作業者の役割）を再認識する。	2h
■職場の生産性と統率力	（1）職場の生産性と統率力の関係(演習あり) ・職場の生産性を上げるために、直接時間を増やし、間接時間を減らすための内容を再確認したうえで、職場のリーダーとしての「人的余裕」の対策案を考える。 組織力(チーム力)を活かし、一人ひとりの能力を発揮させた「桃太郎」の事例を参考に、リーダーのあるべき姿を考える。 （2）統率力の類型 ・統率力・リーダーシップ・マネジメントの違いを理解し、人はどのようにすると成長するかを「人の成長循環図」を参考にして考える。 ・職場リーダーが統率力を発揮するために、身に付けなければならない5つの特徴（決断力、コミュニケーション能力、組織力、職場環境、メンタル）を理解する。 （3）経営者・管理者・監督者の統率力 ・経営者の統率力、管理者の統率力、監督者の統率力と階層別に必要な統率力を理解する。 ・管理者（課長層）・監督者（係長層、リーダー層）それぞれに必要な使命と役割・人材像および能力を理解する。	1.5h
■職場の情報伝達	（1）職場のチームワーク(演習あり) ・大学の研究資料に「業績とチームワークの活き活き度は関係する」というものがあり、その内容を理解する。 ・チームワークがとれている好業績の職場事例からどのような職場が良いのかを考え、自分達が目指すべき職場を考える。 （2）職場で孤立する従業員(演習あり) ・職場で孤立する人の特徴を理解し、職場で孤立した人を出さないために、視覚的・聴覚的に重要な聞き方をロールプレイングで実践し、習得する。 ・職場リーダーとしてメンバーの基本動作を10項目のチェックリストでチェックし、メンバー個々人をどのように指導するかを考える。 ・部下の○○さんの指導方法をグループ内で発表し、メンバーからアドバイスをもらい情報の共有化を図る。 （3）職場の情報伝達 ・組織に流れる3つの情報(上から下・下から上・横断的)を理解し、好業績企業は“情報伝達”をどのように活用しているかを企業研究から学ぶ。 ・職場の情報共有対策として、「情報を共有する“場”」を考える必要性を理解する。	2.5h
※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。	合計	6h